



「中国の政策決定メカニズム」 報告へのコメント(付:参考データ)

2019年10月4日
キャノングローバル戦略研究所
岡寄 久実子

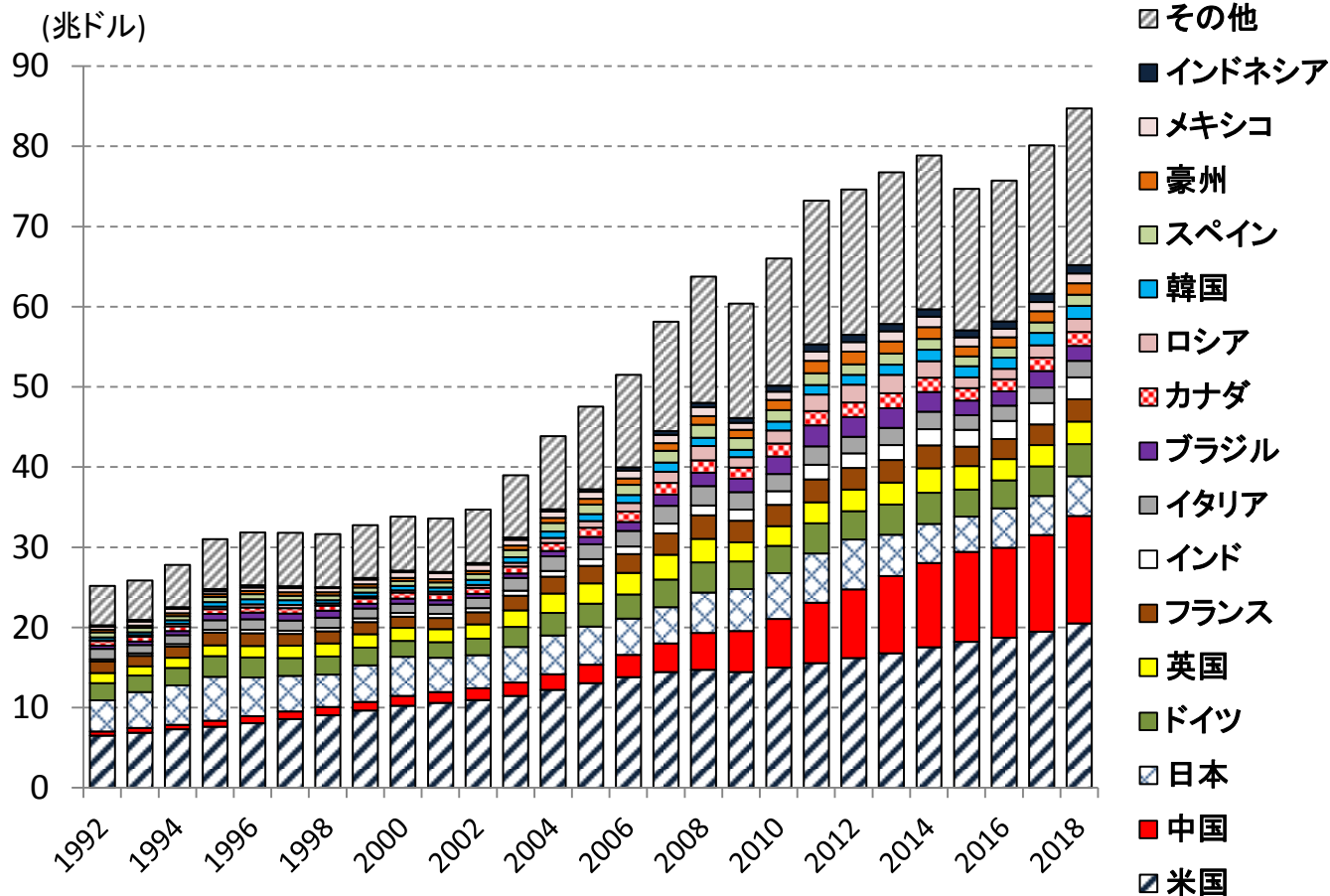


キャノングローバル戦略研究所
The Canon Institute for Global Studies

【規模の拡大】

➤ 中国の名目GDP(ドル建て)は、1998年に1兆ドルを突破。2000年の順位は世界第7位。2007年に同3位、2010年に同2位に。

図1: 世界の名目GDPの推移



注: 2017、18年はIMFによる予測値を含む。
 国名を記載したのは、2018年名目GDPが1兆ドル以上の国。

資料出所: IMF World Economic Outlook 2019 April

表1: 2018年名目GDP規模
 上位10か国

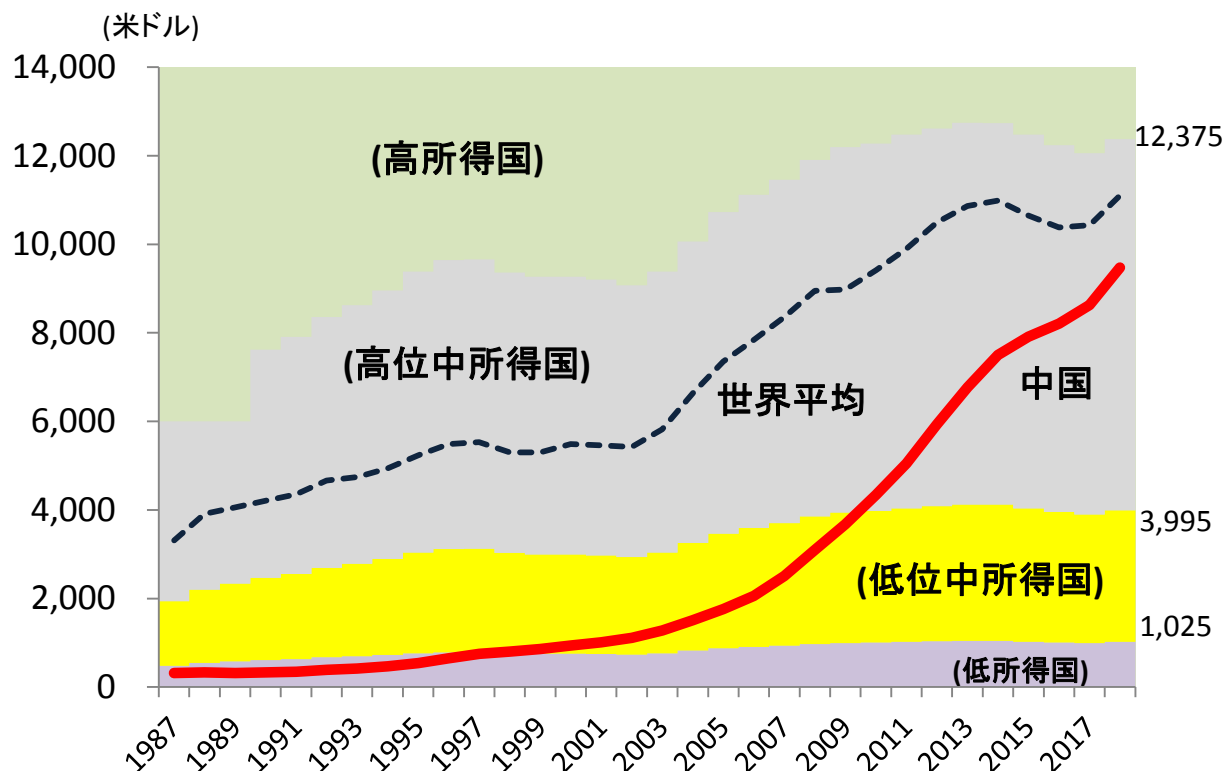
国名	名目GDP (兆ドル)
米国	20.5
中国	13.4
日本	5.0
ドイツ	4.0
英国	2.8
フランス	2.8
インド	2.7
イタリア	2.1
ブラジル	1.9
カナダ	1.7
世界合計	84.7

資料出所: 同左

【13億の掛け算と割り算】

- 「13億の掛け算と割り算」は、胡錦濤・温家宝政権幹部から聞いた言葉。
- 1978年の中国の一人当たりGNIは200ドル(世界107位)。1998年に低位中所得国、2010年に高位中所得国の水準に到達。2018年の値は9,470ドル(世界65位)。

図2: 中国の一人当たりGNI(アトラス方式)の推移



資料出所: World Bank Open Data

表2: 経済規模上位10か国の一人当たりGNI(2018年)

国名	一人当たりGNI(米ドル)
米国	62,850
中国	9,470
日本	41,340
ドイツ	47,450
英国	41,330
フランス	41,070
インド	2,020
イタリア	33,560
ブラジル	9,140
カナダ	44,860

(参考)世界平均: 11,101米ドル

資料出所: 同左

図3: BRICS諸国の一人当たりGNIの推移

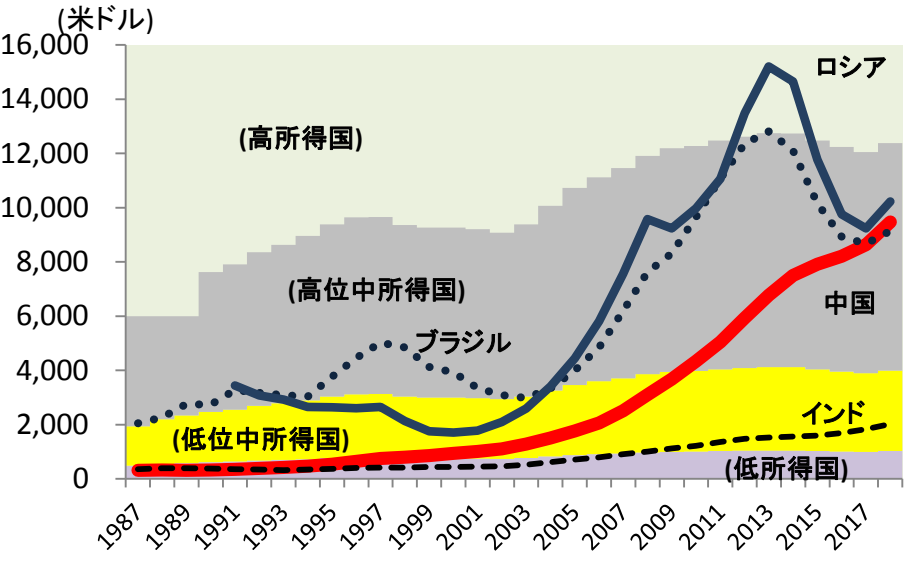


図4: 一部ASEAN諸国の一人当たりGNIの推移

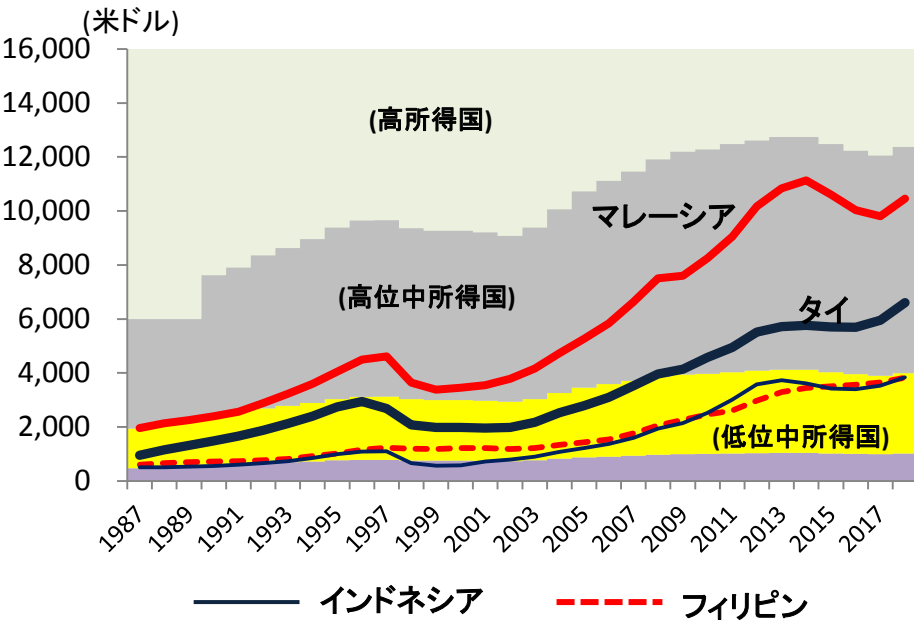
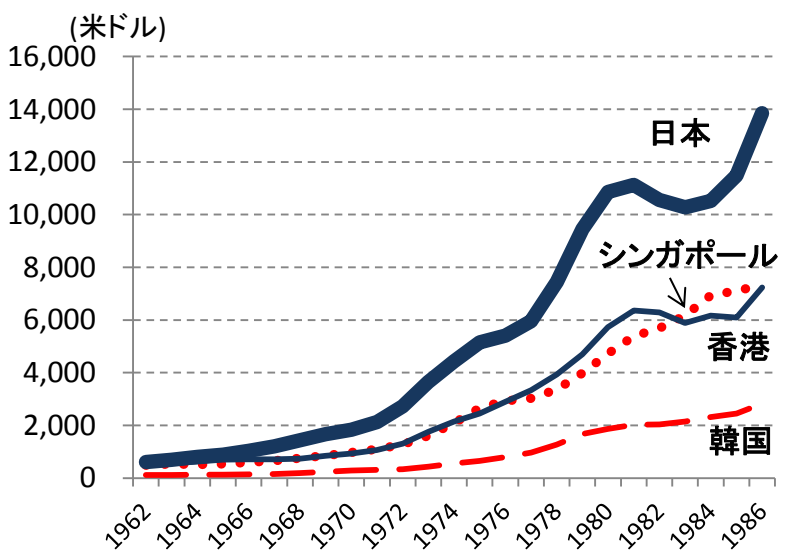


図5: 東アジア高所得国/地域の一人当たりGNIの推移

①1962～1986年



②1987～2018年

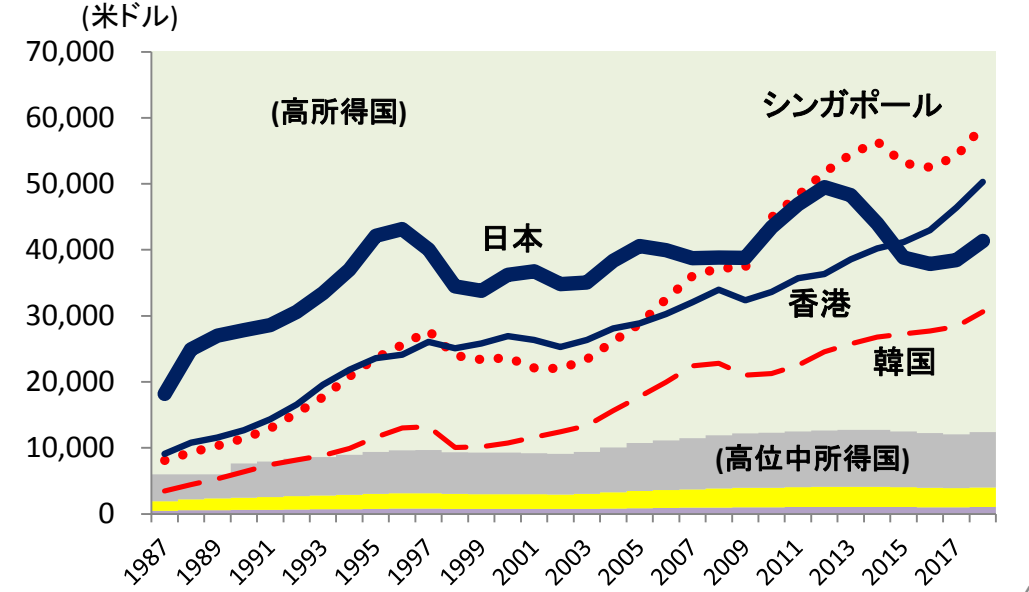
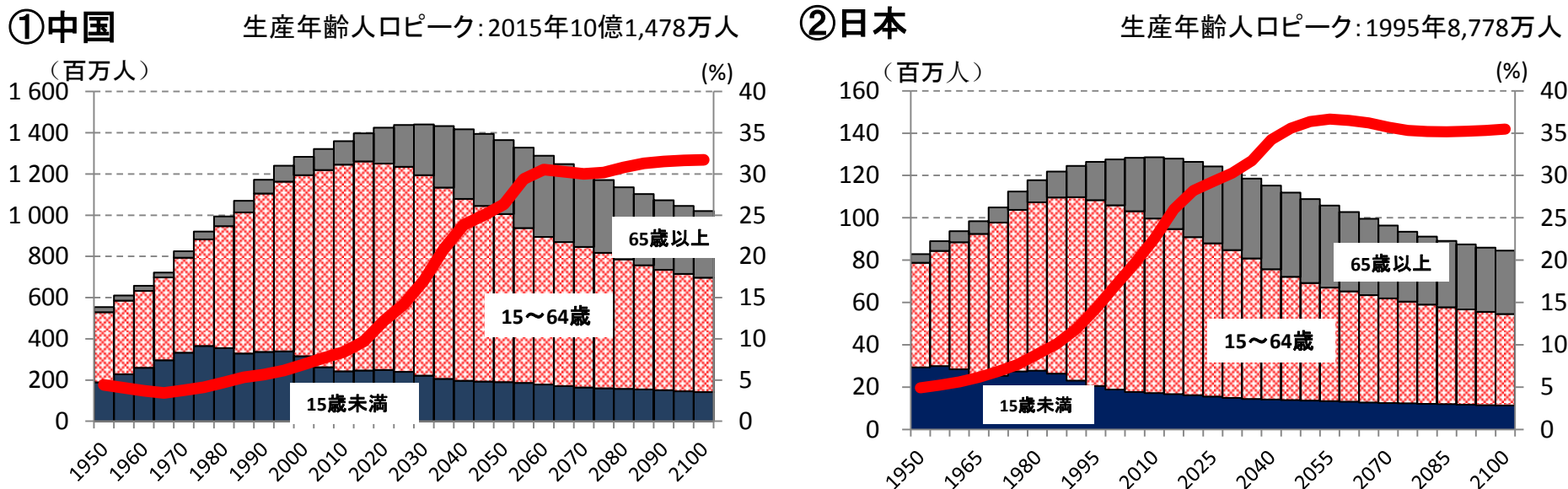


図36～38資料出所: 世界銀行

【高齢化の進展】

➤ 中国は、中所得国の段階で高齢社会を迎える可能性が高い。

図6: 中国と日本の年齢層別人口の推移



注: 赤色の実線は高齢者比率(右軸)。 資料出所: 国連 World Population Prospects The 2017 Revision

表3: 日本、中国、米国の高齢化進展速度

	高齢化社会 (高齢化率7%)	高齢社会 (同14%)	超高齢社会 (同21%)	7%→14%	14%→21%
日本	1970年	1994年	2007年	24年	13年
中国	2001年	2025年	2036年	24年	11年(推計)
米国	1942年	2014年	2034年	72年	20年(推計)

資料出所: 内閣府「平成30年版高齢社会白書」、国連 World Population Prospects The 2017 Revision

【“改革”の進め方に関する議論】

表4: 中国における改革方法論を巡る論争

	テーマ	代表的提唱者
本体論 (誰が)	“頂層設計(トップレベル設計)” VS “地方のイニシアティブ”	吳敬璉、周其仁
	“改革共通認識論” VS “改革断裂論”	華生、孫立平
	“内部主導” VS “外部主導”	劉紀鵬
認識論 (どのような意識で)	“系統論” VS “石を探りながら川を渡る”	張路雄、鄭秀滿
	“国家主義” VS “市場主義”	李文釗
	“集権” VS “分権”	黃凱斌、成思危
	“中国モデル” VS “世界モデル”	馮興元
	“歴史に学ぶ” VS “西側に学ぶ”	田国強、吳曉波
	“構造論” VS “要素論”	錢穎一
方法論 (どのように)	“双軌(2本のレール)制” VS “単軌制”	張維迎、華生
	“法治” VS “人治”	成思危
	“全体論” VS “段階論”	鄭永年